

秋十裏

父こそ道心〈だうしん〉をおこしたりとはきけとて

出てみれば見もならはぬこきすみ染〈ぞめ〉の

衣〈ころも〉にやせ／＼なる姿〈すがた〉をさはわが父かと

思ふになみだもとどまらすみゆほとに

西行ありしつちあそびのすがたには

おひかはりてけたかくいみじくて見ゆ

むすめにいふやう年来〈としごろ〉は行衛もしら

ざりしにけふこそは見奉れおやと成〈なり〉

子となるは前世〈ぜんぜ〉のちぎりなりわが申